

平成28年度 社会福祉法人 ゆりえ会 事業報告

平成28年度、忘れることのできない熊本地震という災害を乗り越え、1年を無事終えることができました。当施設のご利用者には被害もなく無事過ごすことができ、建物、設備等におきましては平成29年度中には修繕を完了する予定です。

災害に伴い、災害マニュアルの見直しを行い、今後は万全な対応を行ってまいります。

震災より短期入所の利用率の増、及びケアハウスにおいても満室に近い状況となり申し込みの待機者も増えてまいりました。

通所事業所におきましては震災より、利用者の減少があり、収入減となりましたが、今後は体制を立て直して稼働率を増やし収入増になるよう努力してまいります。

地域との連携につきましては、積極的に地域交流会、地域行事への参加、会場提供に協力する等地域貢献に力を注ぎました。

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

第1回	評議員会	平成28年	5月22日(日)	出席者11名	監事1名
	理事会	平成28年	5月22日(日)	出席者5名	監事1名

<議 題>

1. 平成27年度 事業報告について
2. 平成27年度 決算報告について
3. 印刷機及び送迎車両の購入又はリース等について
4. 業務委託 給食選定委員会の立ち上げ状況について
5. 熊本地震の状況報告
6. 社会福祉法人制度改正に伴う施行スケジュールについて

第2回	評議員会	平成28年	12月25日(日)	出席者11名	監事2名
	理事会	平成28年	12月25日(日)	出席者6名	監事2名

<議 題>

1. 平成28年度 補正予算(案)について

2. 平成28年度 熊本市指導監査について
3. 給食委託業務の選定について
4. 定款変更について
5. 評議員選任・解任委員会運営細則について
6. 評議員選任・解任委員会について
7. 評議員選任・解任委員会に提案する次期評議員候補者について

第3回 評議員会 平成29年 3月26日(日) 出席者11名 監事1名
理事会 平成29年 3月26日(日) 出席者 5名 監事1名

<議 題>

1. 平成28年度 最終補正予算について
2. 平成29年度 予算及び事業計画について
3. 昇給・人事及び定年延長について
4. 介護職員処遇改善加算支給について
5. 就業規則の変更について
6. 理事長の専決事項について
7. 現理事の退任・新理事の選任について
8. 役員の賠償責任保険について

評議員選任・解任委員会 平成29年 3月26日 出席者2名 理事2名

<議 題>

1. 評議員の選任について

(2) 監事監査の実施

内部経理監査 : 平成28年 5月16日
監事監査 : 平成28年 5月20日

2. 会計管理

震災の影響により、被災者の受け入れ、短期入所者の増、及びケアハウスの満床により昨年よりもわずかながら収入増となりました。

又、一昨年度の設備資金借入金の繰上げ償還及び借入金の組替等、経営状況の改善に努力してきた結果、27年度に比較して予想以上に改善がみられ、赤字幅の縮減ができました。さらに今後も厳しい報酬単価の見直しが予想され一層の経営努力が求められていくものと見込まれます。

3. 職員の雇用及び確保

介護部門では、定年を迎える3名の退職者の中で2名の介護人材の確保ができました。調理員の人材不足の確保も困難な状況が続くため、平成29年度より給食業務を業務委託へと移行することとし給食委員会を立ち上げ、1年をかけ業務選択を行いました。

4. 職員研修

震災以降被災者等の短期入所の受け入れ等、増加し、積極的な外部研修参加はむしろ少ない状況でした。内部研修においては計画的に行い専門的な知識や技術の研修を行い、各自のスキルアップに努めました。

5. 苦情解決

大きな苦情等もなく、苦情解決責任者及び第三者委員による助言等により、公平視点からの苦情の迅速かつ適切な解決に努めました。

6. 情報発言

口腔内環境を整える為、歯科衛生士と連携をとり義歯の調整をこまめに行い食事を美味しく食べてもらうことに力を入れました。また、感染防止対策では職員教育を定期的に行い施設内でのインフルエンザやノロウイルスなどの感染症は防止することができました。

今年度は2名の看とり介護に力を注ぎました。ご利用者の重度化に伴い医療と連携は重要です。ケアハウスにおいては震災後、問い合わせも多く満室に近い状況でした。

在宅利用者においては、震災後利用者も一時減少いたしました但其の後徐々に利用者の登録も増えていきました。今後も利用者の自立支援を継続しながら目配り・気配りができることによりケアの質をあげられるよう努力していきたいと思います。

平成29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業については、訪問介護事情のみ申請を行い、通所介護事業については利用者のニーズの把握、受け入れ、管理体制等整える準備が必要な為、状況を見ながら申請を行うこととしました。

7. 地域及び他機関と連携

地域における公益的な取組みの実施として、定期的に健康マージャンサロンの実施及び、熊本市高齢者支援センターささえりあと連携・協力のもと、積極的に地域行事への参加や会場提供等、地域活動の支援を行いました。

8. 安全対策

28年度は熊本大地震による大規模な修繕が発生する中、なかなか災害復旧が進

まなく給水・給湯工事、プロパン庫旧工事、玄関ポーチ等不陸工事、厨房内外ボランティア更衣室配管工事については年度末まで修理を完了することができました。

中庭の不陸工事が残っておりますが、来年度には完了の予定です。

震災に伴い災害マニュアルの見直しを行い、年2回以上の防災及び災害避難訓練を実施いたしました。

9. 個人情報の適切な管理

個人情報対策では、記録媒体からの漏えい防止、職員が所持するSNS等による個人情報の漏えい防止、またネットワークのウイルス感染対策を徹底いたしました。

10. 職員の安全衛生

本年度より、年2回の定期健康診断に加えストレスチェックを行いました。ストレスチェックにおいては産業医と連携をとり職員の健康管理の向上に努めました。